

## 一般演題プログラム

一般演題 A

会場 S601

---

13:20 韓国における介護保険サービスの実態と課題

- 丁海龍（鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程）
- ❖ 金彦志（鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科）
- 韓昌完（韓国又松大学医療社会福祉学科）
- 高山忠雄（鹿児島国際大学大学院福祉社会学研究科）

13:35 韓国介護保険制度施行1年目の状況と課題

宣賢奎（共栄大学）

13:50 効果的な介護予防を意図した地域リハビリテーションのあり方に関する一考察  
－事例調査による検討－

田原美香（鹿児島国際大学福祉社会学研究科）

14:05 介護保険施設リハビリ職員の業務に関する研究

－タイムスタディと生活活動量の調査から－

- 影山佳奈（日本ケアワーク研究会）
- 谷明香（県立広島大学）
- 花房萌子（県立広島大学）
- 住居広士（県立広島大学）
- 國定美香（日本ケアワーク研究会）
- 石田博嗣（県立広島大学）

14:20 介護老人福祉施設における生活相談員のソーシャルワーク業務実態と再評価

- 吉村美紀（県立広島大学）
- 石田博嗣（県立広島大学大学院）
- 山縣永（県立広島大学）
- 國定美香（日本ケアワーク研究会）
- 影山佳奈（日本ケアワーク研究会）
- 三宅文恵（県立広島大学大学院）
- 住居広士（県立広島大学）

14:35 タイムスタディ調査による介護老人福祉施設の計画担当介護支援専門員の業務実態

山縣永（県立広島大学）  
石田博嗣（県立広島大学大学院）  
吉村美紀（県立広島大学）  
三宅文恵（県立広島大学大学院）  
國定美香（日本ケアワーク研究会）  
影山佳奈（日本ケアワーク研究会）  
住居広士（県立広島大学）

14:50 地域在住高齢者の社会関連性と認知症発症との関連

川島悠里<sup>1)</sup> 篠原亮次<sup>1)</sup> 杉澤悠圭<sup>1)</sup> 澤田優子<sup>2)</sup> 童連<sup>1)</sup>  
平野真紀<sup>1)</sup> 田中笑子<sup>1)</sup> 渡辺多恵子<sup>1)</sup> 恩田陽子<sup>1)</sup> 石井享子<sup>3)</sup>  
伊藤澄雄<sup>4)</sup> 安梅勅江<sup>1)</sup>

1) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科

2) 近畿大学医学部附属病院 リハビリテーション部

3) 法政大学 人間社会研究科

4) 飛島村すこやかセンター

13:20 不登校状態にある学習面・行動面の困難を抱える児童・生徒とその支援についての考察

原田直樹（福岡県立大学付属研究所不登校・引きこもりサポートセンター）

松浦賢長（福岡県立大学看護学部）

13:35 精神科デイケアにおける健康教育プログラムの効果  
ー介入前後の比較を通してー

高田絵理子（山形大学大学院医学系研究科看護学専攻後期課程）

叶谷由佳（山形大学医学部看護学科）

13:50 福祉・行政・医療機関でのDV教育研修に関する追跡調査研究  
ー低回収率の原因を探るためにー

今村利香（鹿児島大学医学部）

14:05 精神保健福祉ユーザーのリカバリーに影響する要因の件等  
ーユーザーへの聞き取り調査を通してー

中條大輔（鹿児島国際大学大学院博士後期課程）

14:20 障害をもつ人の就労支援機関における支援者の実践過程の検討

森川洋（東海学院大学健康福祉部）

黒岩直人（茨城障害者雇用支援センター）

黒岩美紀（独立行政法人産業技術総合研究所）

14:35 コミュニティ・エンパワメントに向けたニーズからみた保健福祉施策の方向性  
ーフォーカス・グループインタビューを用いてー

平野真紀<sup>1)</sup>、川島悠里<sup>1)</sup>、杉澤悠圭<sup>1)</sup>、篠原亮次<sup>1)</sup>、田中笑子<sup>1)</sup>、  
渡辺多恵子<sup>1)</sup>、恩田陽子<sup>1)</sup>、童 連<sup>1)</sup>、石井享子<sup>1) 2)</sup>、澤田優子<sup>1)</sup>  
伊藤澄雄<sup>4)</sup>、安梅勅江<sup>1)</sup>

1) 筑波大学大学院人間総合科学研究科

2) 法政大学現代福祉学部

3) 近畿大学附属病院

4) 飛島村すこやかセンター

13:20 子どもと家庭を支援する専門職を対象とした地域子育て支援拠点におけるファミリーソーシャルワーク講座の学習成果の検討

新川泰弘（三重中京大学短期大学部）

木村琢磨（三重中京大学短期大学部）

13:35 学び直しプログラム講演会・シンポジウム「子どもと親の育ちを応援するファミリーソーシャルワーク」の参加動機と実践活用との関連性の検討

木村琢磨（三重中京大学短期大学部）

新川泰弘（三重中京大学短期大学部）

13:50 乳児期における養育者のしつけ観「ほめること」の変化が幼児期の社会能力推移にあたる影響

篠原亮次<sup>1)2)</sup> 杉澤悠圭<sup>1)2)</sup> 童蓮<sup>1)2)</sup> 田中笑子<sup>1)2)</sup> 渡辺多恵子<sup>1)2)</sup>

恩田陽子<sup>1)2)</sup> 川島悠里<sup>1)2)</sup> 平野真紀<sup>1)2)</sup> 富崎悦子<sup>1)2)</sup>

望月由紀子<sup>1)2)</sup> 矢藤優子<sup>1)3)</sup> 山川紀子<sup>1)4)</sup> 安梅勅江<sup>1)2)</sup>

1) Japan Children's Study Group

2) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科

3) 立命館大学 文学部

4) すくすくコホート三重研究グループ（三重中央医療センター）

14:05 18-30 か月時の育児環境の推移と 30 か月時の子どもの社会能力との関連

杉澤 悠圭<sup>1,2)</sup>、篠原 亮次<sup>1,2)</sup>、童 連<sup>1,2)</sup>、田中 笑子<sup>1,2)</sup>、  
渡辺 多恵子<sup>1,2)</sup>、恩田 陽子<sup>1,2)</sup>、川島 悠里<sup>1,2)</sup>、平野 真紀<sup>1,2)</sup>、  
富崎 悦子<sup>1,2)</sup>、望月 由紀子<sup>1,2)</sup>、矢藤 優子<sup>1,3)</sup>、  
山川 紀子<sup>1,4)</sup>、安梅 勅江<sup>1,2)</sup>、Japan Children's Study Group/

1) 独立行政法人科学技術振興機構 / 社会技術研究開発センター

2) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科

3) 立命館大学 文学部

4) すくすくコホート三重研究グループ、三重中央医療センター

14:20 30 か月児の社会能力発達に関連する要因の検討

—「心の理論」に焦点をあてて—

田中 笑子<sup>1)2)</sup>, 富崎 悦子<sup>1)2)</sup>, 篠原 亮二<sup>1)2)</sup>, 杉澤 悠圭<sup>1)2)</sup>,  
童 連<sup>1)2)</sup>, 平野 真紀<sup>1)2)</sup>, 渡辺 多恵子<sup>1)2)</sup>, 恩田 陽子<sup>1)2)</sup>,  
望月 由妃子<sup>1)2)</sup>, 川島 悠里<sup>1)2)</sup>, 矢藤 優子<sup>1)3)</sup>, 山川 紀子<sup>1)4)</sup>,  
安梅 勅江<sup>1)2)</sup>

- 1) 独立行政法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター
- 2) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科
- 3) 立命館大学
- 4) すくすくコホート三重研究グループ (三重中央医療センター)

14:35 幼児期の養育環境が1年後の社会的スキルに与える影響

恩田 陽子 篠原 亮次 杉澤 悠圭 童 連 田中笑子  
渡辺多恵子 平野 真紀 望月由妃子 川島 悠里 安梅勅江  
(筑波大学大学院 人間総合科学研究科)

14:50 フォーカスグループ・インタビューを用いた子育て支援事業の評価と今後の課題に関する研究

—講座参加者の意見に焦点を当てて—

望月 由妃子 篠原 亮次 杉澤 悠圭 童 連 平野 真紀  
富崎 悦子 田中 笑子 渡辺 多恵子 恩田 陽子  
川島 悠里 安梅 勅江  
(筑波大学大学院人間総合科学研究科)